

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 脳梗塞に対する高気圧酸素療法の有効性に関する研究
研究期間: 倫理委員会承認日～2025年3月31日

1. 研究の対象

2021年12月～2024年3月に脳梗塞を発症し当院に入院された方

2. 研究目的・方法

高気圧酸素療法(HBOT)は、急性一酸化炭素中毒、空気塞栓や減圧症など様々な病気に適応を有し、脳梗塞もそのひとつであります。当院では脳梗塞に対して抗血栓療法(抗血小板薬・抗凝固薬・血栓溶解療法・血管内治療による血栓摘出再開通療法など)を行ったうえで、高気圧酸素治療装置を使用した高気圧酸素療法を併用しています。今回、脳梗塞に対し高気圧酸素療法を受けられた患者さんを対象に、機能予後が改善するのかを診療記録から後方視的に検討することにより、脳梗塞に対する高気圧酸素療法の有効性を検証したいと考えております。日常診療で行われたデータを検討するのみですので、対象となる患者さんに追加で検査等を行うことはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部
情報: 年齢、性別などの基本情報、病歴、治療歴、併用治療の内容、副作用の発生状況、治療前後での身体診察所見、等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
浜松医療センター 脳神経内科 伊藤 充子(研究責任者)
住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328
電話: 053-453-7111(病院代表)

2021年12月22日作成